

2025年度 清水建設株式会社
サステナビリティ経営説明会

2025年10月27日

サステナビリティ経営説明会

議 事 次 第	講 演 者	
開 会 挨 拶	代表取締役専務執行役員 サステナビリティ担当	東 佳樹
講演Ⅰ 脱炭素社会の実現に向けた環境配慮型コンクリートの開発 SUSMICS®-C／DACコート®	常務執行役員 技術研究所長	掛川 秀史
講演Ⅱ レジリエントな社会を実現するシミズのソリューション	常務執行役員 建築総本部 設計本部長	藤本 裕之
講演Ⅲ 持続可能なサプライチェーンに向けた取り組み	常務執行役員 建築総本部 購買担当	原田 知明
講演Ⅳ 「挑戦し共創する多様な人財」の育成	執行役員 NOVARE ヴァイスエグゼクティブコンダクター 人財戦略部長	佐藤 和美
質 疑 応 答		

講演 I

脱炭素社会の実現に向けた 環境配慮型コンクリートの開発 SUSMICS[®]-C/DACコート[®]

常務執行役員 技術研究所長

掛川 秀史

サステナビリティ経営の方針



グループ環境ビジョン “SHIMZ Beyond Zero 2050”

2050年カーボンゼロ・廃棄物最終処分ゼロ・自然に与える負の影響ゼロ

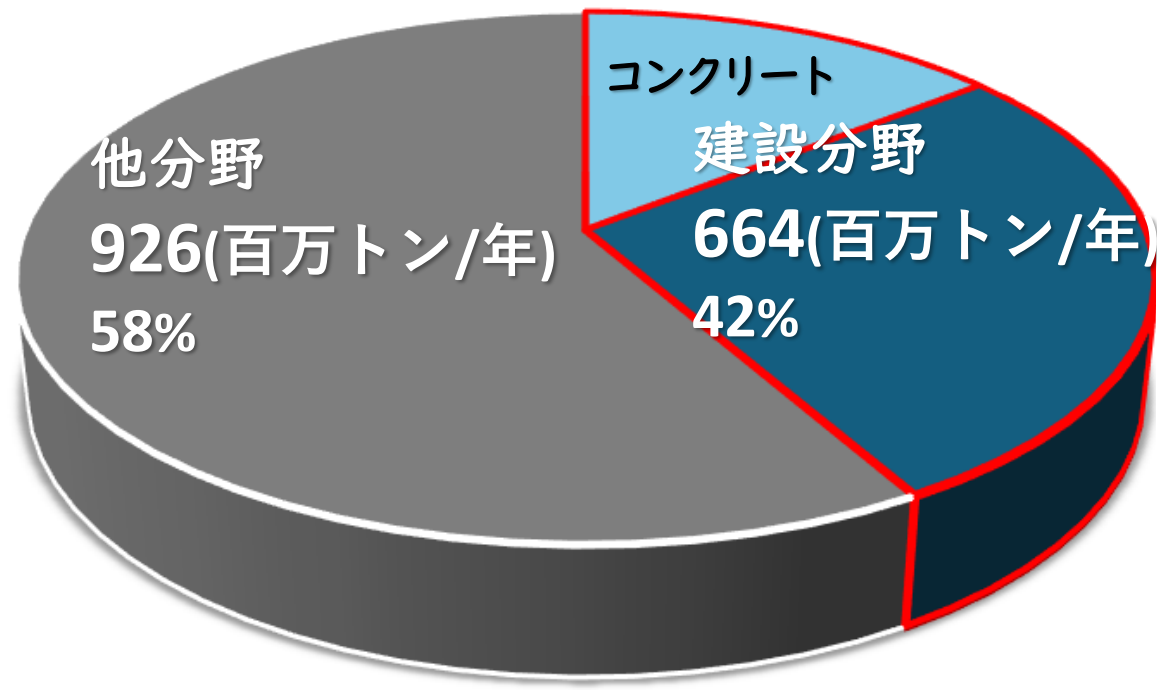
中期経営計画〈2024-2026〉 脱炭素関連のKPI(2026年目標)

建設事業におけるCO₂総排出量削減率(2023年度比)
| 2%以上削減

材料技術は「**脱炭素**」を
実現する中核技術として注目

コンクリートを取り巻く状況

日本の総物質投入量



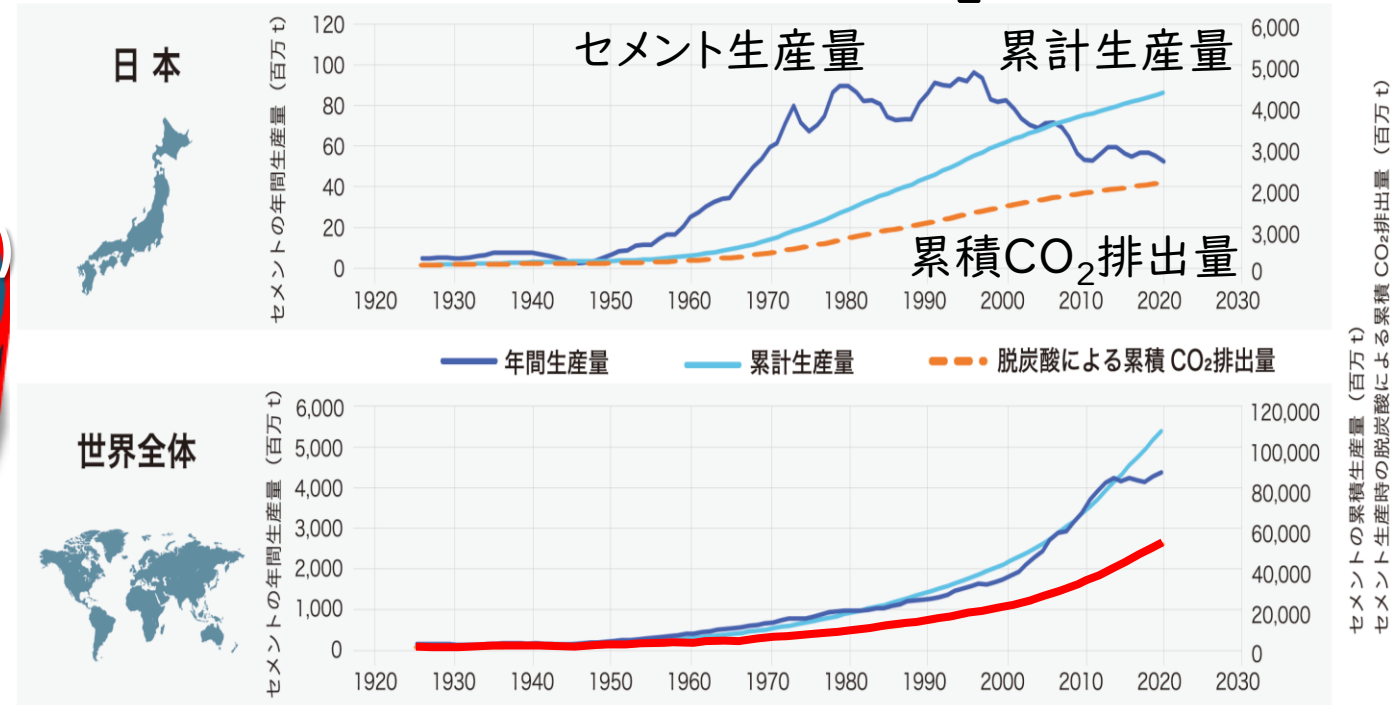
※2017年の統計

建設分野が占める割合は**42%**

→ その内 コンクリートが**34%**

ムーンショットプロジェクト資料より (<https://moonshot-c4s.jp/>)

セメントの生産量とCO₂排出量



世界で**500**億トン

日本で**20**億トン

以上のCO₂を排出

環境配慮型コンクリートの分類

セメント低減型（混和材活用）

高炉スラグ微粉末高含有コンクリート

CO₂固定材料活用型

SUSMICS-C

Sustainable + SMI(炭) + Carbon Storage

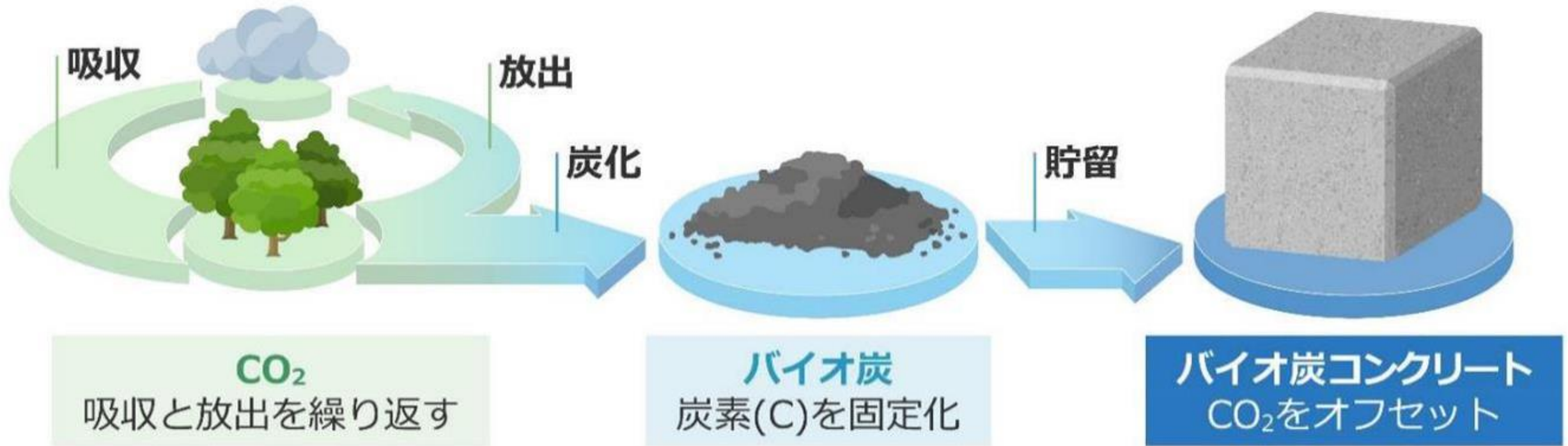
CO₂吸収・活用型

DAC(Direct Air Capture)
コート

セメントコンクリート硬化体に
CO₂を吸収・固定

コンクリート(材料)が
脱炭素に対して果たす
役割は大きい

バイオ炭による炭素貯留



樹木が成長過程で大気中から吸収したCO₂を炭化することで、**長期的に分解されにくい炭素**としてバイオ炭に固定

バイオ炭を混入することで樹木が吸収したCO₂を**コンクリート中に固定**

SUSMICS-Cの特徴

□ 汎用性が高い

特殊な設備が不要で、全国の生コン工場での製造が可能
施工性、品質（強度、耐久性など）が**普通コンクリートと同等**

□ CDR（二酸化炭素除去）を効率的に実現可能

1kgあたりのCO₂固定量が炭酸カルシウムの**8倍以上**
バイオ炭 (CO₂/C) : 3.6kg-CO₂/kg
炭酸カルシウム (CO₂/CaCO₃) : 0.44kg-CO₂/kg

□ 低炭素セメントと併用可能

高炉セメントB種やC種などの低炭素セメントと
組み合わせることで、**カーボンニュートラル、
カーボンネガティブ**を実現可能



SUSMICS-C 実績と第三者確認



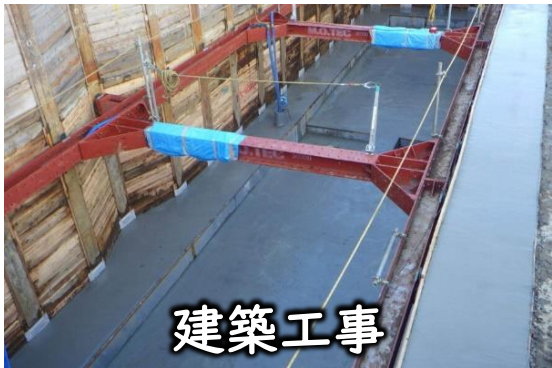
実工事への適用

	土木工事	建築工事
排出量削減率	99%	111%
施工数量	34.5m ³	510m ³
バイオ炭によるCO ₂ 排出削減量	約4.7t-CO ₂	約62.8t-CO ₂



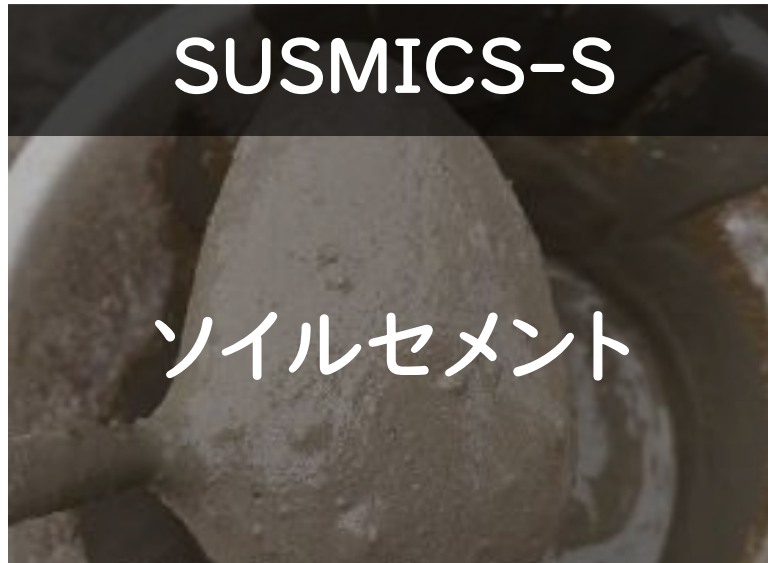
第三者機関の確認

ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン(株)によるカーボンネガティブ確認



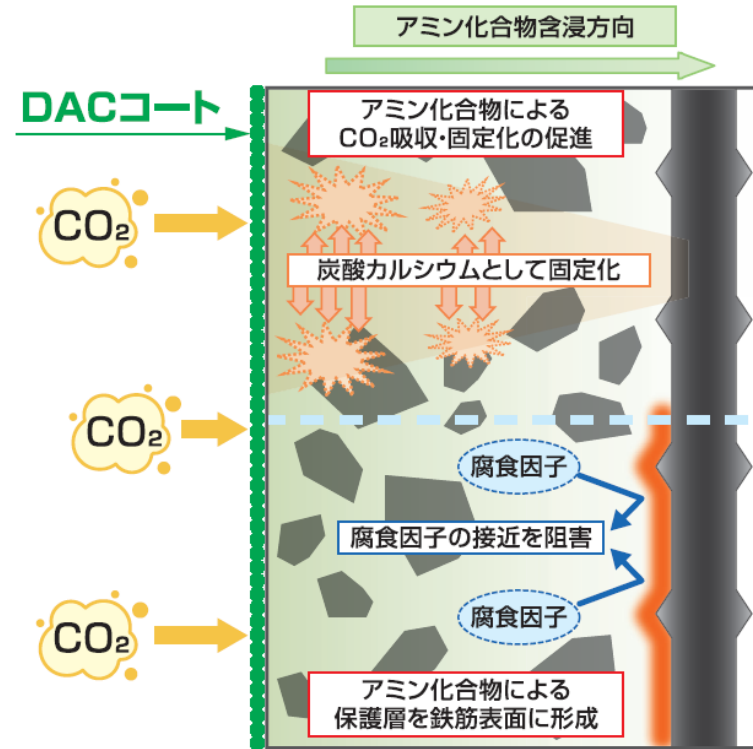
<https://www.nies.go.jp/whatsnew/2025/ua88o2000009njje-att/ua88o2000009nk3e.pdf>

SUSMICSシリーズの展開



バイオ炭の
様々な**建設資材**
への適用拡大

DACコートの仕組み: **世界初**の開発技術 (北海道大学との共研)



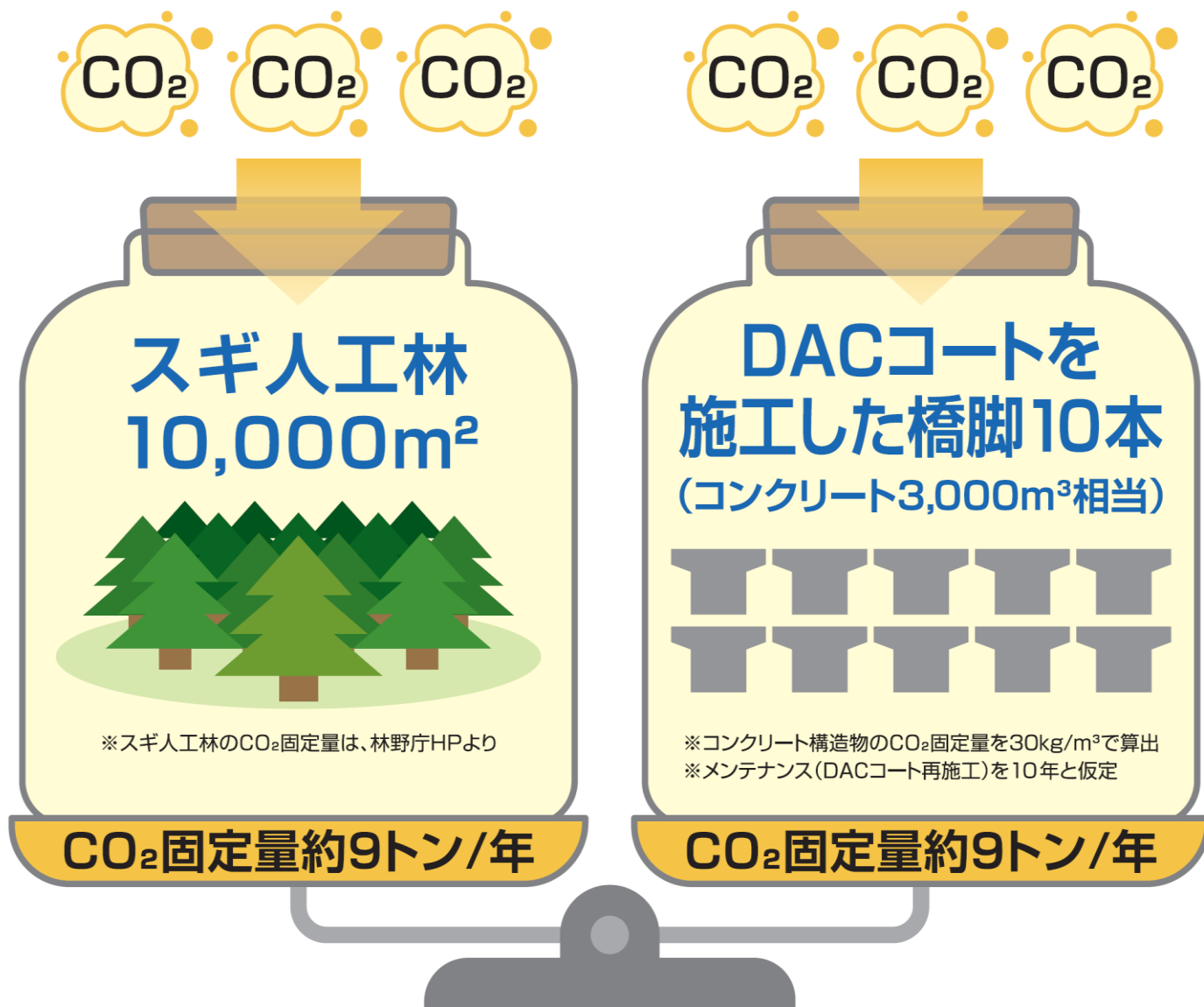
CO₂吸収・固定化

CO₂吸収性能の高いアミン系溶液を含浸剤としてコンクリート構造部の表面に塗布
大気中のCO₂を促進的に**吸収・固定化**

長寿命化

鉄筋の**耐食性**も向上
コンクリート構造物の長寿命化

DACコートの効果と価値



CO₂固定量向上

約 **1.5** 倍以上増加 (室内試験結果)

鉄筋の腐食速度を抑制

約 **1/50** に抑制

鉄筋の耐食性を向上

約 **1.5** 倍以上増加

DACコートの効果検証

□ 実環境でのCO₂吸収効果の検証

30種類のアミン溶液 (DACコート剤候補) を実環境で評価中

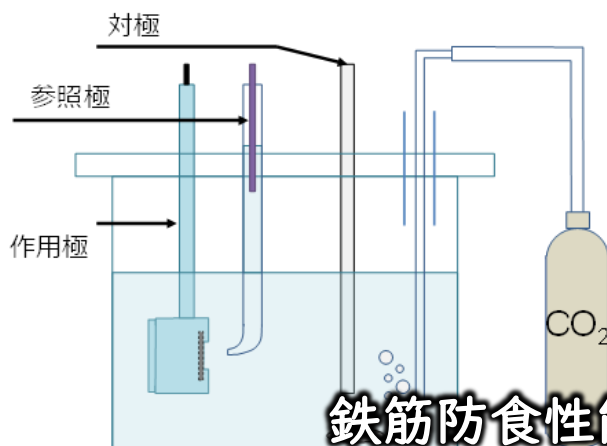
無塗布に対し、約**2.5~4**倍のCO₂固定 (炭酸化) 促進効果を確認中 含浸あり

□ 鉄筋防食性能の検証

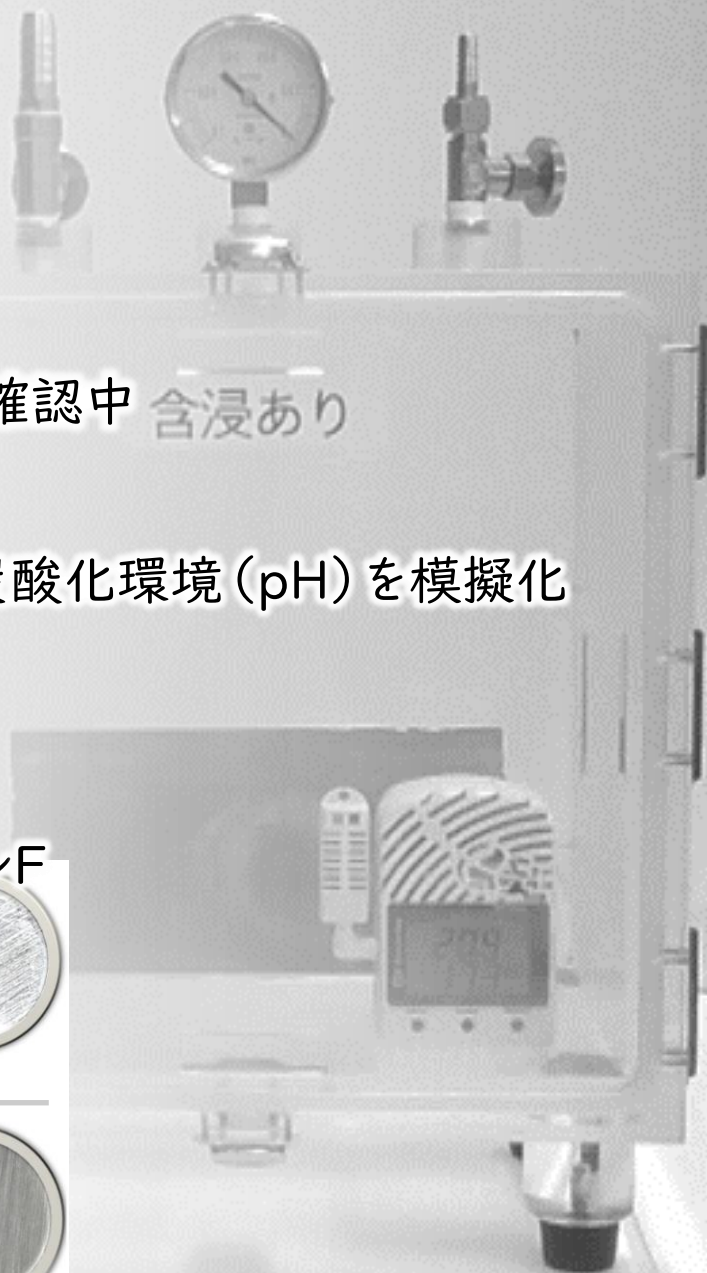
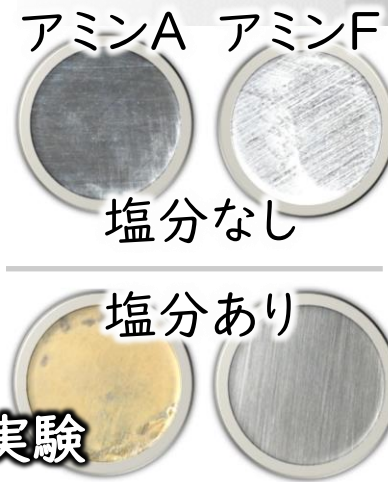
Ca(OH)₂溶液にCO₂ガスを吹き込むことで、コンクリート内部の炭酸化環境 (pH) を模擬化

多くのアミンで**炭酸化環境における防食効果**を確認

塩分に対して高い耐食性を発揮するアミンも特定



鉄筋防食性能検証実験



講演2

レジリエントな社会を実現するシミズのソリューション

常務執行役員 建築総本部 設計本部長

藤本 裕之

A**rchitecture** E**ngineering** C**onstruction** TECH DRIVEN

たった一つの建築をつくる
そこに結集される技術群を
ものづくりや新たな事業領域につなぎ
シミズの成長の原動力とする



BLUE FRONT SHIBAURA

設計:株式会社楨総合計画事務所 清水建設株式会社

オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 株式会社日建設計

延床面積:267,424.57㎡ I+II期:550,596.26㎡ 地下3階・地上43階・塔屋2階
建物高さ:228.88m

東京ベイエリアの景観を一新する オフィス・ホテル・商業施設・住宅の 一体開発プロジェクト

【開発・実践した新しい技術(設計)】

・BILMUS

・耐風ロック機構(ウィンドロック)

・フェールセーフ機構(eクッション)

・AMDの制御則高度化

・高強度鋼780材CFTトラス

・薄肉大断面CFT柱

・冷媒レヒート型除湿空調機

・環境センサー連動

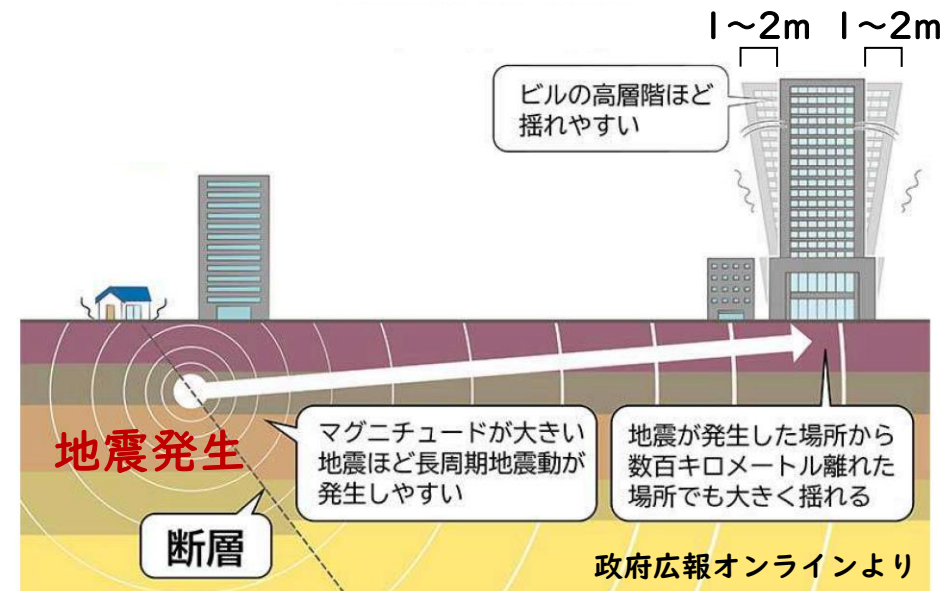
ブラインド制御システム

・加圧防排煙システム 他

超高層建物は長周期地震動対策が必要

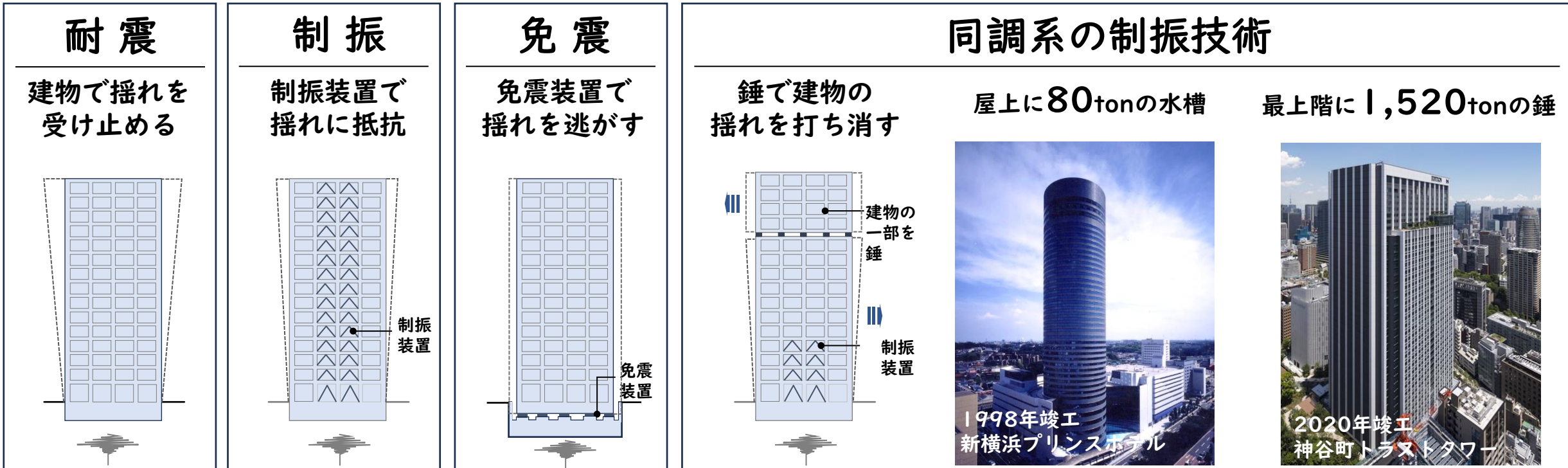
- ・長周期地震動は震源から数百km離れた場所でも、超高層建物が長時間にわたって大きくゆっくり揺れる
- ・建物の高層階では1~2mに及ぶ振幅となり、それをどう制御するかが課題

東日本大震災時に超高層ビルは大きくゆっくり揺れました



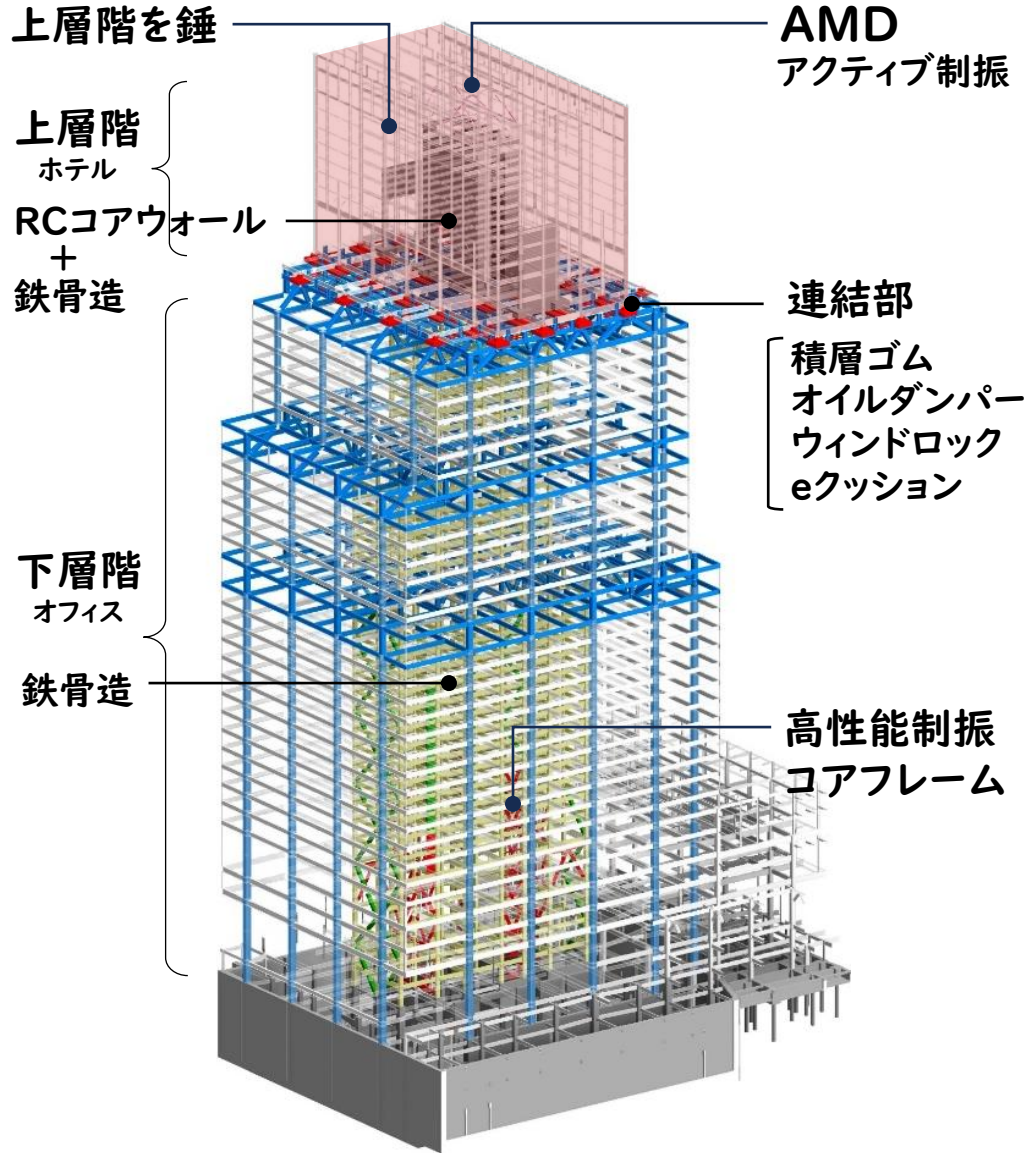
長周期地震動の特徴

超高層建物に適用する免震・制振技術の進展



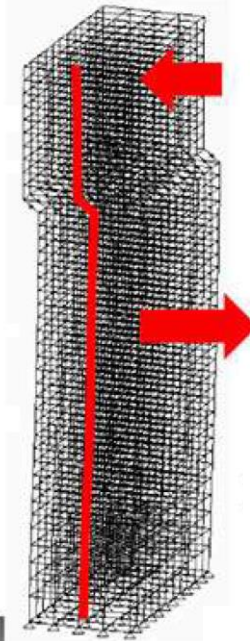
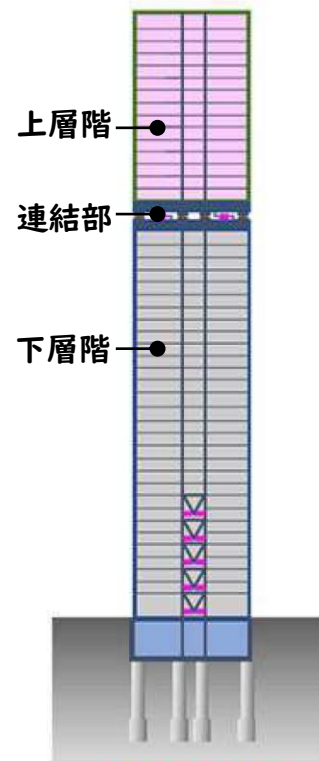
- ・現在では建物頂部に錘を乗せて揺れを打ち消す
同調系の制振技術の進化が顕著（30年の歴史）
- ・錘を重くすれば揺れを抑える効果は上がるが、建物への負担が増加 → そのバランスが課題

BILMUS ビルマス®



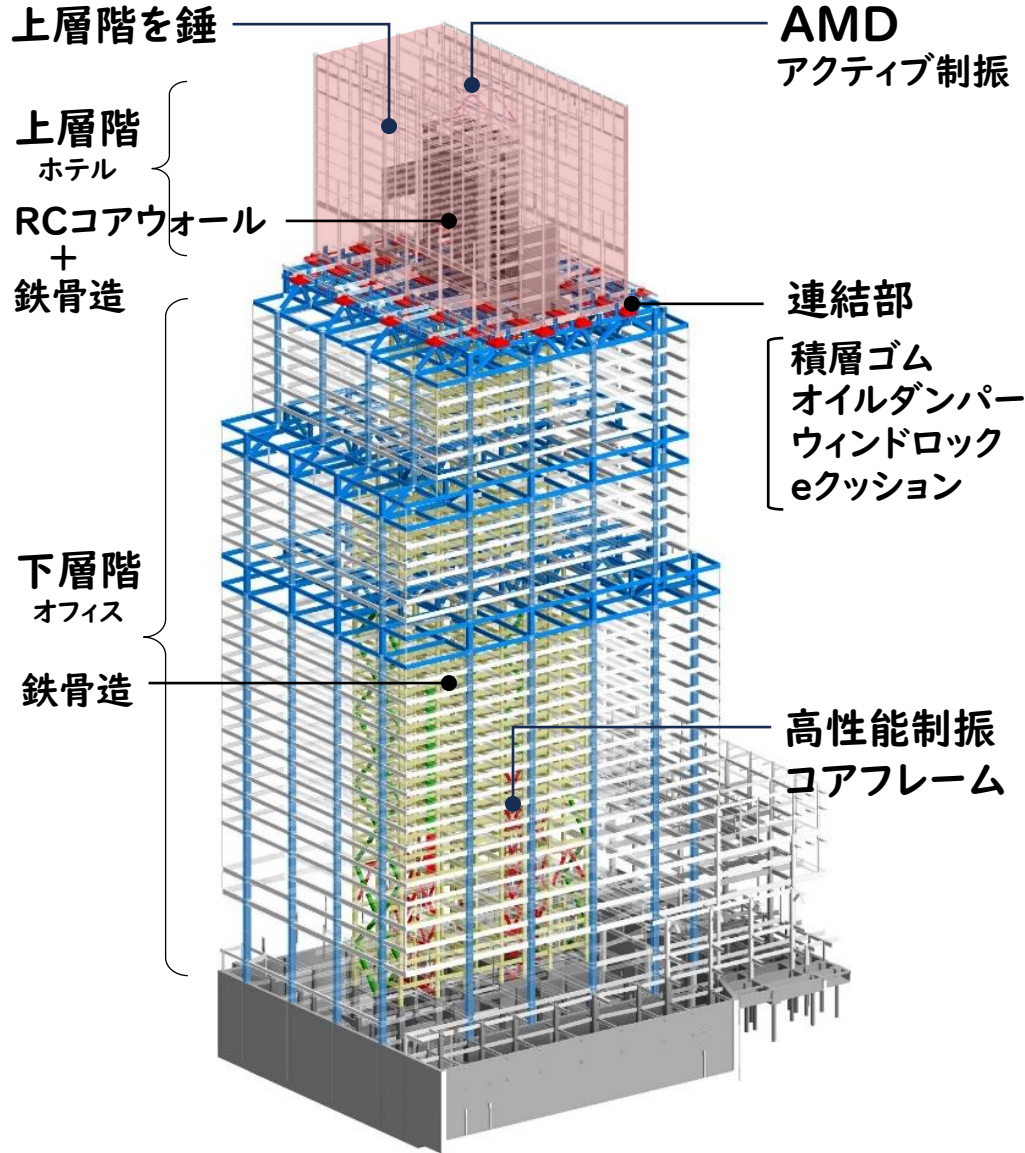
建物の一部を錘に置き換える技術

- ・ 上層階の重量34,200tonを錘として活用し、上層階と下層階がお互いの揺れを打ち消す
- ・ その効果は上層階の揺れを1/2に低減
下層階の鉄骨数量を30%削減

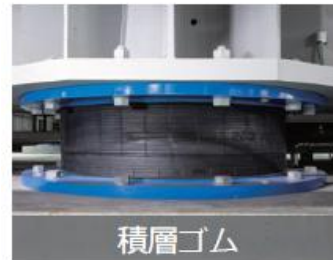


- ・ 上層部が錘として機能して地震時のお互いの揺れを打ち消す

BILMUS ビルマス®

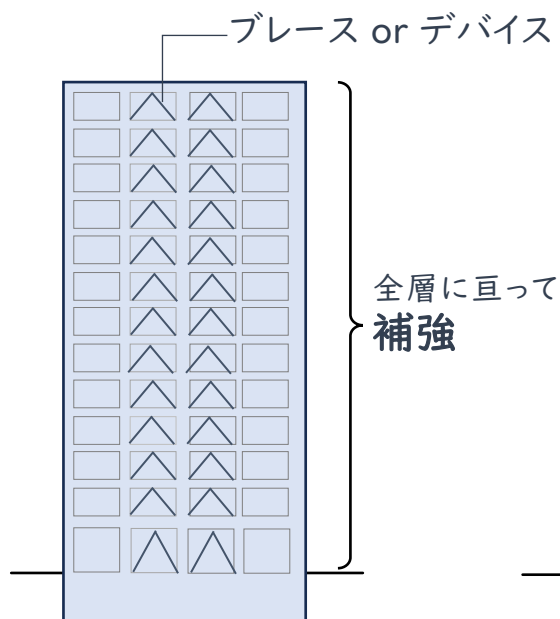


BLUE FRONT SHIBAURAは 様々な技術群を最適化設計した シミズの免震・制振技術の集大成



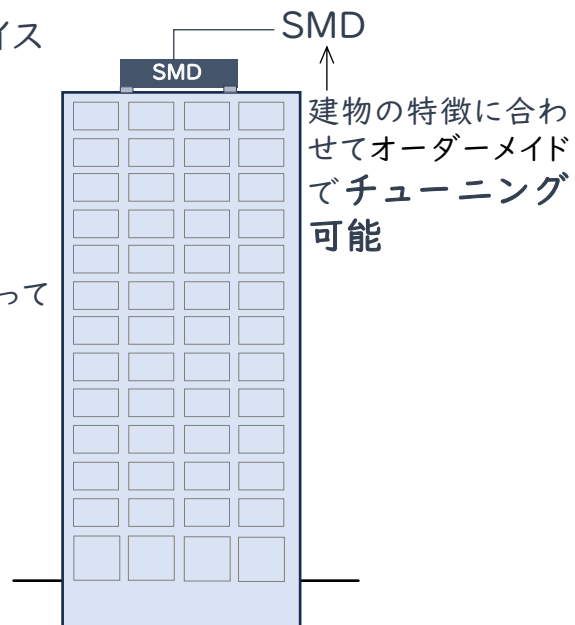
建物ライフサイクル事業のスケール化を図ります

耐震・制振改修



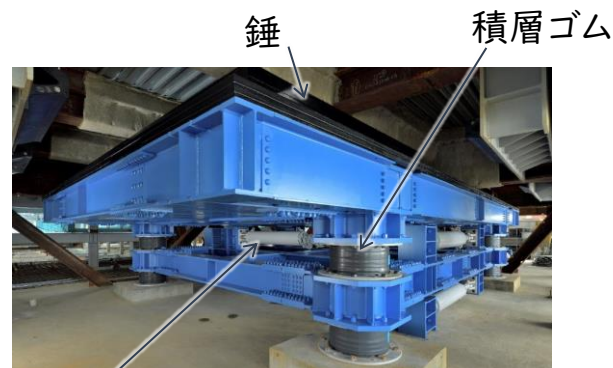
- ・工費 高い
 - ・工期 長い
 - ・引越し 必要
- 退去による
テナント離れ

SMD改修



- ・工費 低い
- ・工期 短い
- ・引越し 不要

- ・新耐震基準以前の建物の耐震改修が急務
 - ・工事期間中の退去によるテナント離れから耐震改修に踏み切れない
- シミズ・スイングマスダンパー
- ・SMD は屋上に錘を設置することで建物の揺れを抑える技術
 - ・居ながらで工事が可能なSMDを用いた改修で耐震改修を後押し



オイルダンパーSMDの設置事例

新たな「事業レジリエンス・マネジメント」の提供

平常時：コンサルティング



- ・冗長性（安全性に係る余度）の判定
 - ・脆弱性（被害の受けやすさ）の評価
- 被害想定マップとチェックシートの準備

発災後：応急対策・復旧支援

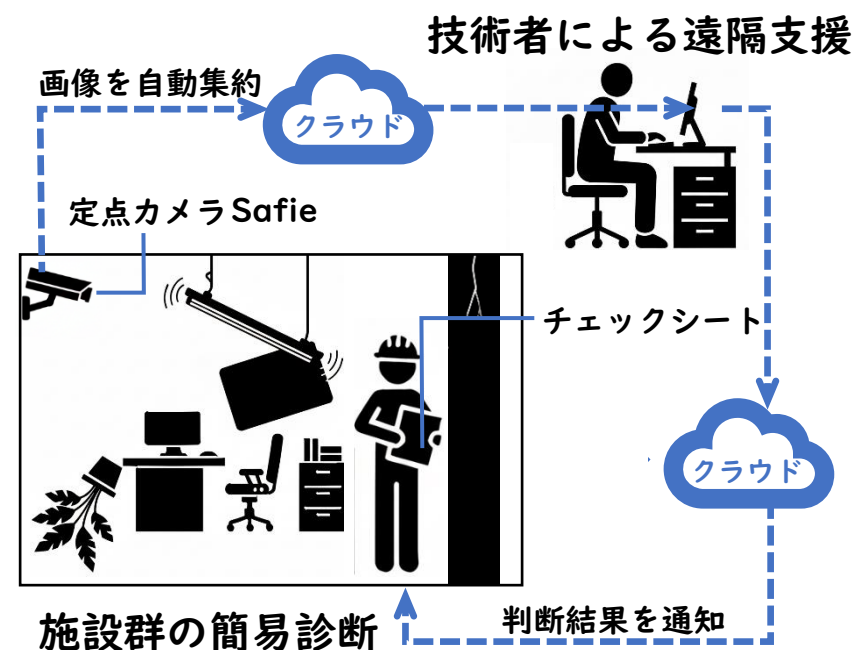


- ・観測地震波の記録・被害画像の取得
- ・対象施設群の簡易診断の実施
- ・非被災地技術者による応急危険度判定の遠隔支援

被災後の防災行動の実効性を高め早期復旧に繋げる

- ・事業継続に係る適切な投資計画を支援する「事業レジリエンス・マネジメント」を提供

応急対策活動とは



災害拠点病院における水害に対する取り組み

地震：突発的に発生

水害：気象や河川水位情報で発災前から防災行動
→ **タイムライン**が有効

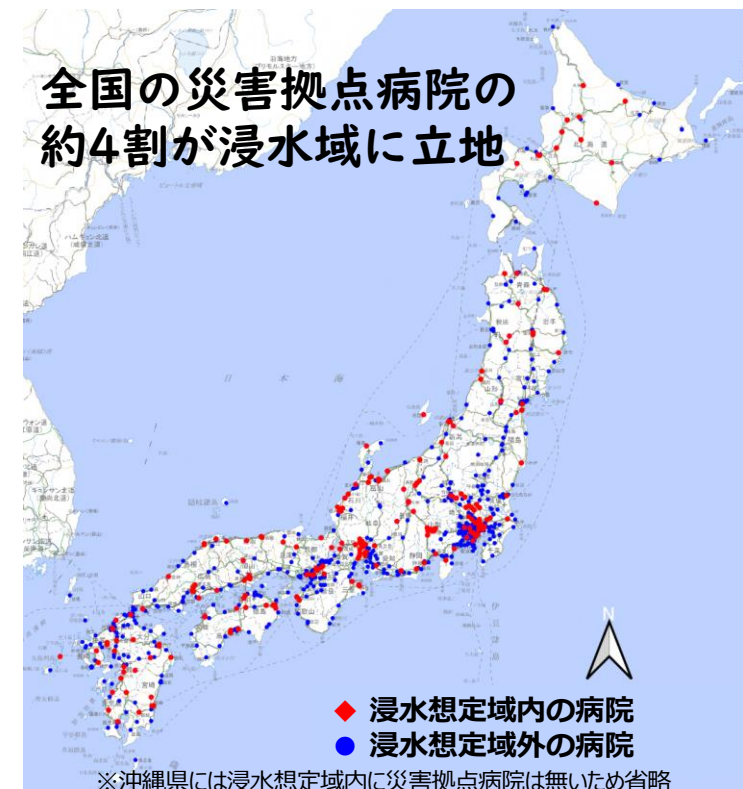
災害拠点病院は被災しても救急要請に応える役割



Medical Continuity Plan

災害時の医療継続計画MCPを支援

- ・ タイムライン策定・防災訓練支援
- ・ 意思決定を支援するデジタル基盤(MCP支援システム)の提供



時系列で行動を定めた災害拠点病院のタイムライン 例



災害対策本部は、防災活動や救急患者への医療提供に対し、人材、インフラ、ベッドなどの限られたリソースでどのように対応するか、迅速な判断が必要

医療提供に必要な情報

【タスク】

防災活動
の進捗は？



- ・アクションカード
- ・タイムラインの進捗

【デマンド】

救急患者
の量は？



- ・症状
- ・トリアージレベル
- ・到着予定時間

【リソース】

人材 は？



- ・安否確認
- ・参集・在館情報
- ・専門医の対応可否

インフラ は？
医療機器 は？



- ・電気・水・医療ガス
- ・医薬品
- ・医療機器
- ・手術室

空ベッド は？



- ・空ベッド数(一般・ICU)

MCP支援システム ダッシュボード画面（一部）

【タスク画面】



【リソース画面】

専門医の
対応可否

更新時刻	診療科	受入れSTOP疾患
6/21 12:00	脳外	てんかん重症発作 12:00-14:00 専門医不在のため専門医不在のため
6/21 12:00	心外	
6/21 12:00	整外	切断 12:00-14:00 専門医不在のため
6/21 12:00	消内	
6/21 12:00	肝・脾内	

災害時の医療継続を地域で考える活動

医療機関や自治体、消防などの連携を推進し、地域レジリエンス向上を目指す

- 各機関がリアルタイムに情報を共有し、迅速、最適な判断につなげるための検討を実施



人吉球磨地域
災害時医療連携
検討会の様子

- 熊本県・熊本大学病院と災害医療に関する包括連携協定を締結



2025年
8月26日
締結式

- 東京海上日動主催 防災コンソーシアム“CORE”に参画
分科会テーマ
「タイムライン活用による水害時の地域医療継続システムの構築」

【参加企業】

清水建設(リーダー企業)

東京海上日動

NTT データ

ウェザーニューズ

河川情報センター

日水コン



A**rchitecture** E**ngineering** C**onstruction** TECH DRIVEN

技術が私たちを鍛え
建設事業の可能性を拡げる

事業継続のソリューションパートナーとして
建設事業における高収益な事業体質への転換に貢献

本日よりご紹介した技術の詳細な内容はこちら



BILMUS



MCP

講演3

持続可能なサプライチェーンに向けた取り組み

常務執行役員 建築総本部 購買担当

原田 知明

アジェンダ

1. 協力会社の担い手確保・育成の取り組みの概要
2. 協力会社との連携：「兼喜会」とのパートナーシップ
3. 建設技能者研修施設「清水匠技塾」
4. 外国人材活躍に向けた取り組み：技能実習生受入支援

1. 協力会社の担い手確保・育成の取り組みの概要

【目的】

- ・近年、建設業における**建設技能者の高齢化や若年者不足**により、**担い手不足が慢性化**している。
- ・また、国内での建築工事案件の大型化傾向や、経済状況の変化の影響などで、**地域や時期によって労務需要の繁閑差が大きく、サプライチェーンの確保が難しい時代**となってきた。
- ・これらに対応すべく、サプライチェーンの維持・強化を目的として、**清水建設の協力会社の担い手確保・育成**に取り組んでいる。

【「兼喜会」との協働】

- ・清水建設の協力会社からなる組織「**兼喜会**」と協働でこれらの取り組みを推進している。

【担い手確保・育成に向けた施策】

- ・建設技能者研修施設「**清水匠技塾**」の活用
- ・入職支援
 - 高校との連携による工種体験授業・現場見学会の開催
 - 任期制自衛官向けの合同企業説明会への清水建設の協力会社の参加
 - ハローワークとの連携による建設セミナー・現場見学会の開催
 - 求人広告企業との連携による清水建設の協力会社の求人サイトの運営
 - **ウズベキスタン技能実習生の受入支援**

2. 協力会社との連携：「兼喜会」とのパートナーシップ

【兼喜会とは】

- ・清水建設の建設プロジェクトで仕事を行なう**専門工事会社**の中でも、**優れた技能・技術**を持った協力会社 **約1,300社**からなる清水建設の協力会社の組織。
- ・当社のサプライチェーンの中核となる存在。

【兼喜会の目的】

- ・福祉増進、建設技術の向上と品質確保、工事の安全促進、円滑なる運営で、**会員相互の親睦と清水建設の事業発展に寄与し、共存共栄を図ること。**

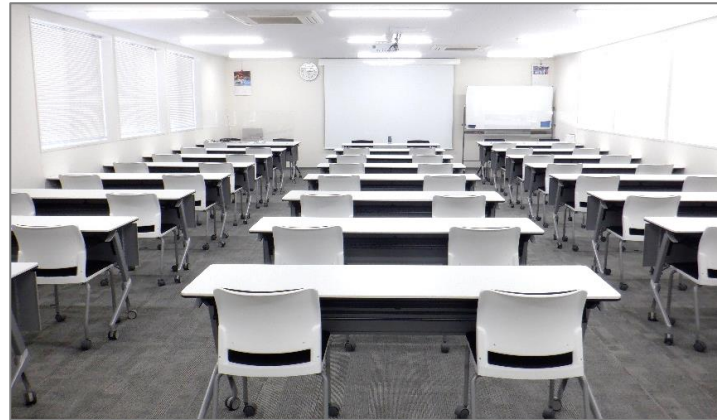


兼喜会と清水建設とは、「**車の両輪**」に例えられ、**相互信頼の強い絆のパートナーシップ**で結ばれている

3. 建設技能者研修施設「清水匠技塾」

【設立の経緯】

- ・建設現場での**建設技能者の不足懸念**に対して、**サプライチェーンの構築**を目的として、清水建設の協力会社の**担い手確保・育成**のための建設技能者研修施設を設立。
- ・**兼喜会企業との共同運営**で2020年7月より運用を開始し、2024年度の利用実績は**2,484名**、運用開始からの延べ利用実績は**約10,000名**。



【おもな取り組み】

■担い手育成

- 「清水匠技塾」での**各種研修・講習の実施**

■担い手確保

- 「清水匠技塾」の施設や研修・講習を見学することで、清水建設の協力会社の**教育体制をアピール**し、若年者の入職を促進

3. 建設技能者研修施設「清水匠技塾」

【具体的な取り組み内容】

- ・協力会社からの要望等に応じて都度新しい研修・講習も提案し、**研修・講習内容を改善・充実**
- ・全国の支店からの要請に対応して、**各支店地域での研修・講習の出張開催も開始**

■研修・講習

- ・新規入職者研修・特別教育講習
- ・1年目フォローアップ研修
- ・2年目フォローアップ研修
- ・**現場マネジメント研修**
- ・職長再教育（※更新手続きのため）
- ・**コミュニケーション向上研修**
- ・多能工スキル習得訓練
- ・CAD・BIM講習
- ・**ウズベキスタン技能実習生
受入教育・特別教育講習**
- ・**外国人材向け職長教育**
- ・**上記各種研修・講習の出張開催**

■見学会・他事業者連携

- ・清水匠技塾（教育体制）見学
施設見学
研修・講習状況見学
- ・工業高校工種体験授業
- ・日本躯体コンクリート
打込み検定

■社内利用

- ・各種研修
- ・生産性向上支援
アシストツール
ロボット開発・実験

※赤字の項目

2022年度の説明会で紹介
して以降の新たな取り組み

3. 建設技能者研修施設「清水匠技塾」

【新規入職者研修】



講義



安全研修 フルハーネス体験



安全研修 VR事故体験



現場見学



先輩とのディスカッション

3. 建設技能者研修施設「清水匠技塾」

【各種練習会・講習会】



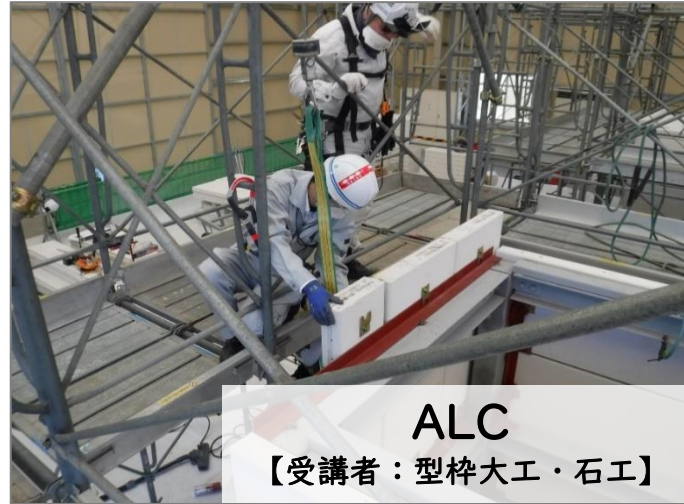
3. 建設技能者研修施設「清水匠技塾」

【多能工訓練】



耐火巻付

【受講者：大工・塗装工・土木工】



ALC

【受講者：型枠大工・石工】



デッキプレート

【受講者：鳶工】

【アシストツール・機械の開発・検証】



電動走行作業台「スカイナー」、無線操作式資材運搬・揚重機「スカイテーブル」



大型ステージ足場移動実験

4. 建設外国人材活躍に向けた取り組み：技能実習生受入支援

【取り組み】

- ・国内の人口減少も見据え、**今後の建設業での外国人材の活躍に向けた取り組み**として、清水建設の協力会社への**技能実習生の受入支援**に取り組んでいる。

【背景】

- ・兼喜会企業から技能実習生受け入れについての相談があり、**これを受けて支援をすることとした。**
- ・**清水建設の従業員にウズベキスタン出身の人材**がいることから、まずはウズベキスタンからの受け入れ支援を開始した。
- ・ウズベキスタンは、**国としても日本への人材送り出しに積極的**だった。

【支援内容】

- ・清水建設の協力会社の技能実習生**採用面接を、現地から清水建設のウズベキスタン人材がサポート。**
- ・技能実習生が入国後、**清水匠技塾にて受入教育、特別教育講習**を実施（累計約**130名受入**）。
- ・清水建設の**メンター（ウズベキスタン人材）**が技能実習生を訪問し、**生活面・メンタル面をフォロー。**



1・2期生受入

4. 建設外国人材活躍に向けた取り組み：技能実習生受入支援

【ウズベキスタン技能実習生 受入教育研修】



安全体験学習 VR事故



安全体験学習 フルハーフ安全帯

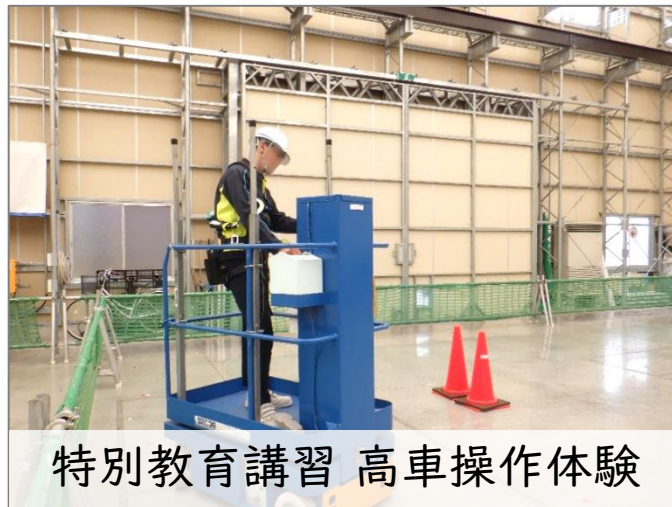


KYトレーニング グループワーク

【ウズベキスタン技能実習生 特別教育講習】



特別教育講習 丸ノコ



特別教育講習 高車操作体験

講演4

「挑戦し共創する多様な人財」の育成

執行役員 NOVARE ヴァイスエグゼクティブコンダクター

コーポレート企画室 人財戦略部長

佐藤 和美

中期経営計画 <2024-2026> より



“成長を支援する仕組みづくりにより
「挑戦し共創する多様な人財」を育成する“

AGENDA

01 成長を支援する仕組みづくり

02 イノベーションを育てる

DX人財育成

■「シミズ・デジタル・アカデミー」を開校

- 段階的なデジタル人財育成を目指し、3つのSTEPからなる体系的な育成プログラムを展開

STEP 1 デジタルリテラシー人財
(全従業員)

デジタル化による
業務効率化の意義を理解し、
ITツールを使いこなせる

STEP 2 デジタル活用人財
(2,000人以上)

高度なITツールを活用し、
部門内の業務の改善を図る
ことができる

STEP 3 DXコア人財
(120人育成・全部門配置)

内向き：① 全社・部門横断で
業務プロセス改革を
リードできる

外向き：② 既存事業を通じて、
新しい価値をお客様に提供
できる
③ 新規事業の創出ができる



STEP1 デジタル リテラシー 人財	デジタルリテラシーeラーニング修了者		
	15,839人 2024/8/1~2025/3/31		
STEP2 デジタル 活用人財	デジタルリテラシーアセスメント受講者		
	6,652人 2024/7/25~2025/9/19		
STEP3 DXコア 人財	データ利用 勉強会参加者	DX推進パスポート 資格取得者	うち女性
	延べ1,434人	ITパスポート:	375人 134人
		G検定:	422人 77人
		データサイエンティスト検定:	42人 5人
STEP3 DXコア 人財	合計	修了コース	2025/9/1時点 うち女性
	122人	DXプロデューサー:	50人 3人
		DXテクニカルプランナー:	49人 12人
		ITテクニカルプランナー:	23人 10人

2025/9/19時点 25年度受講生（現在受講中）を含む

「品質」と「安全」を追求する人財育成拠点

■ NOVARE Academy

- 品質・安全教育



【品質】実物大モックアップや最新のデジタル技術を活用した「見て・触れて・やってみる」体験型研修を重視

【安全】危険体感型プログラム、リーダーシップ研修、VRを活用した災害シミュレーション等、現場での安全意識と指揮力を強化

- 部門横断型教育



【部門横断】「デジタルラーニングゾーン(DLZ)」にて、BIMやXR技術を活用したデジタル施工管理・現場シミュレーションを実施し、部門を横断して、現場の知恵とノウハウの継承・共有を促進



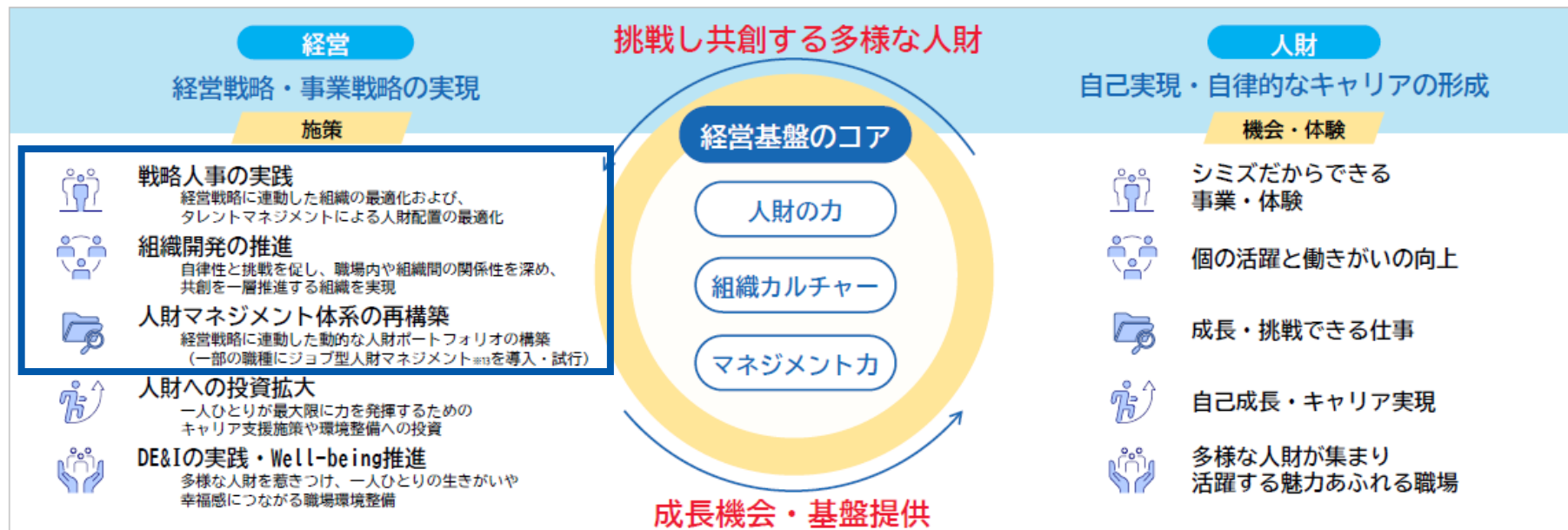
戦略人事の実践・人財マネジメント体系の再構築

■ 人財と組織力の成長

経営戦略と連動した人財ポートフォリオの実現に向け、

- ・ 多様性の推進と働きやすい職場環境を支える人事制度の改正
- ・ タレントマネジメントシステムの導入および人財開発体系の再整備

など、包括的な人財マネジメント体系の再構築を推進



戦略人事の実践・人財マネジメント体系の再構築

■ 組織開発の推進

・対話とサーベイ

エンゲージメント指標		2024年度スコア	2026年度までに
働きがい指標	仕事のやりがい	3.7	6指標の平均 3.6 ➡ 4.0以上 を目指す
	心身の健康	3.6	
	職場の信頼関係	3.7	
関係性指標	職場内の協働関係	3.6	
	組織間の共創関係	3.6	
	ビジョン・会社方針への共感	3.2	

- ・パルスサーベイ、エンゲージメント調査による組織課題の見える化
- ・1on1ミーティングや職場内対話会などの対話施策
→信頼関係の向上や個人・チームの成長を促す

・1on1ミーティングと働きがいの関係性

1on1満足度	回答数	働きがい指標		
		仕事のやりがい	心身の健康	職場の信頼関係
非常に満足	1,217	4.43	4.49	4.54
満足	3,637	3.84	3.94	3.97
どちらともいえない	2,009	3.31	3.50	3.46
不満	366	3.01	3.23	3.03
非常に不満	132	2.54	2.85	2.21
実施していない	2,873	3.36	3.59	3.45
全体平均	10,234	3.62	3.78	3.74



▲職場内対話会の様子

グローバル展開に向けたプラットフォームづくり

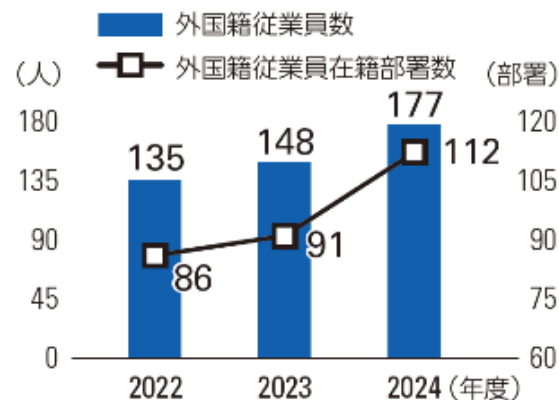
■グローバル人事マネージャー会議

- ・ **本社と海外拠点間の人事連携強化**に向け各国から14名の人事マネージャーが来日
- ・ 本社人事マネージャーと共に、共通する人事課題について議論、グループワークを実施



■外国籍従業員の活躍

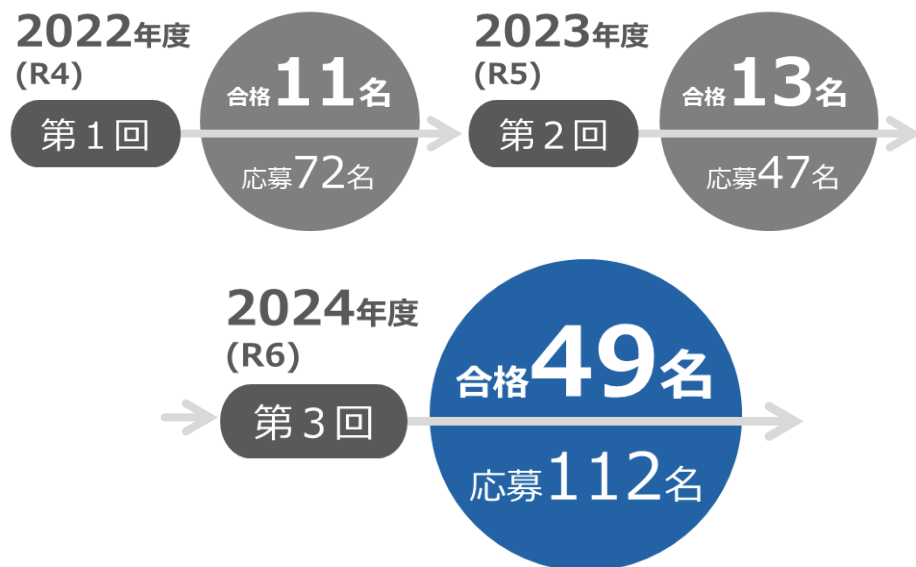
- ・ 清水建設には25カ国出身の194名の外国籍従業員が在籍（2025/04時点）。**人数だけでなく、在籍部署数も着実に増加**し、社内での外国籍従業員の活躍が進む
- ・ 内定時の座談会、直属の上司と参加する合宿型研修、入社4年目のフォロー研修など、キャリアステージに対応した研修プログラムを提供



ジョブチャレンジ制度・公募型研修の拡大

■特定の事業や職務について、人財を社内から広く募集し、従業員の主体的なチャレンジを支援する「**ジョブチャレンジ制度**」を実施

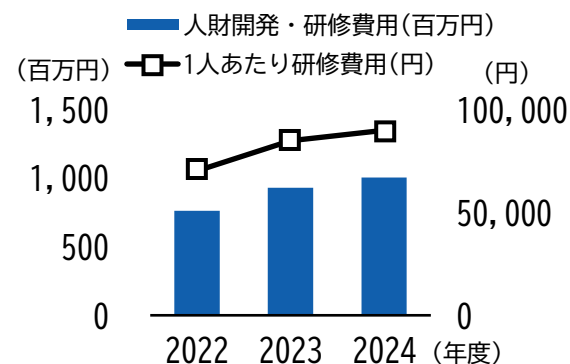
- 同制度を活用した異動者数は第1回との比較で約4.5倍の49名に増加



■**公募型研修の拡充**による従業員の自律的なキャリア形成の支援

- 2023年度導入の社外派遣型「ビジネススキル研修」は、毎年受講枠を拡大中
- 2024年度からは新たにオンライン形式の「動画学習サービス」を導入し、業務に直結する知識・スキルの習得機会を提供

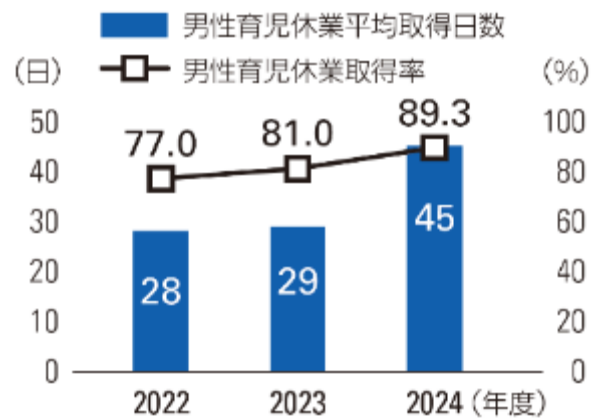
→人財投資を拡大し、自律的な能力開発を支援



DE&I (ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)

■仕事と育児の両立

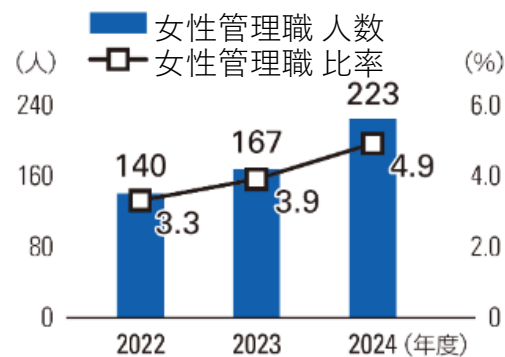
- 男性従業員の育児休業は、取得率の向上に加え、**取得日数も着実に増加**



- 育児中の男性向け体験型ワークショップ「**赤ちゃん理解セミナー**」の導入など、育児へのより積極的な関与を後押し

■女性活躍

- 「**シン・ダイバーシティ活動**」では経営トップが全国14部門を訪問し、「管理職の魅力」をテーマに活動を展開
- 同活動からの声を受けて、管理職候補向けの「**女性リーダーシップ研修**」を導入。成長・挑戦意識の向上を目的として、外部コーチングと体験型学習を実施



DE&I (ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)

■従業員の家族向けイベント「家族の日」

- 従業員の家族が業務内容や職場環境への理解を深められ、従業員自身も家族とのつながりを再認識できる機会とすることを目的に、「さあ今年も行こう!家族の日2024」を本社で開催



経営トップとの名刺交換(家族の日)



NOVARE家族見学会

- 2024年は新たにNOVARE内の旧渋谷邸、ArchivesおよびHubを見学する「NOVARE家族見学会」も開催

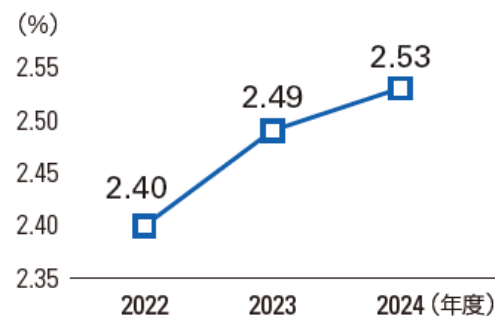
■障がいのある従業員の活躍推進

- 障がいのある従業員向けに中期経営計画〈2024-2026〉の説明会・対話会を実施
- 全国から57名が参加し、経営企画部との意見交換、最先端施設の見学を通じ、経営戦略への理解を深める機会に



中期経営計画説明会・対話会

障がい者雇用率



課題・アイデア募集

アイデアの可能性を探る

- ブラッシュアップしたアイデアで
課題解決に挑戦
→NOVAREによる
アイデアブラッシュアップ



技術開発テーマ

技術の展開促進と
新規事業の創出を目指す

- シミズグループでの
技術展開/事業化
→NOVAREによる
プロジェクト伴走支援



CV制度

新規事業アイデアで起業を目指す

- 起業(独立)
→NOVAREによる
プロジェクト伴走支援



02 イノベーションを育てる

Q あなたの目指すゴールは何ですか？

- A 起業をして、自ら事業を立ち上げ、経営を担うこと
- B 社内外の技術・知見を活用した事業・イノベーションの創出
- C 具体的なゴールは見えていないが、漠然としたアイデアを形にしたい・または可能性を探りたい

A

CV制度

新規事業アイデアで
起業を目指す



B

Q あなたのアイデアの具体性はどの程度ですか？

- A 顧客とその課題、提供価値を定義できている
- B アイデアはあるものの、具体的な表現方法が固まっておらず、多角的な視点からのブラッシュアップが必要

A

所属部門の了承を得る

技術開発テーマ

技術の展開促進と
新規事業の創出を目指す



B

C

課題・アイデア募集
アイデアの可能性を探る



中期経営計画 <2024-2026> より



“成長を支援する仕組みづくりにより
「挑戦し共創する多様な人財」を育成する“